

発達障害とは

「発達障害」は、脳の機能の発達が関係する、多くは生まれつきの障害です。発達障害には下の図のようないくつかのタイプがあります。同じ障害でも特徴のあらわれかたには個人差があります。また、いくつかのタイプを併せもつ人もいます。

知的な遅れを伴うこともあります。

広汎性発達障害
自閉症 アスペルガー症候群
(自閉スペクトラム症 ASD)

- ・言葉の発達の遅れ
(アスペルガー症候群では、言葉の遅れはみられません)
- ・コミュニケーションの難しさ
- ・対人関係・社会性の問題
- ・パターン化した行動、興味のかたより、こだわり
- ・感覚の過敏、または鈍感、不器用など

注意欠陥多動性障害 AD/HD
(注意欠如・多動症、注意欠如・多動性障害)

- ・不注意(集中できない)
- ・多動・多弁(じっとしてられない)
- ・衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

学習障害 LD
(限局性学習症、限局性学習障害)

- ・全体的な知的発達に遅れはないが、「読む」、「書く」、「計算する」などの能力が極端に苦手

※このほか、トゥレット症候群、吃音(症)、発達性協調運動障害なども発達障害に分類されています。

※参考 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部作成「発達障害の理解のために」

国立障害者リハビリテーションセンター
発達障害情報・支援センター ホームページ
<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

